

高知県小学生バレーボール連盟関係者の皆様へ

高知県小学生バレーボール連盟
会長 濱田 有 一

高知県小連感染拡大予防ガイドラインについて

＝日本小学生バレーボール連盟活動再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて＝より

現在の状況下、ジュニアバレーボールの活動においては、今後の持続的な対策として、ガイドラインを作成するなど、自主的な感染防止のための取り組みをすすめることが、日小連からも求められています。

そこで、本連盟でも下記の通り、安全安心を最優先に、ガイドラインを取りまとめました。大会開催にあつての申し合わせ事項『**【新型コロナウイルス感染症拡大防止対策】コロナ禍の県夏季大会 開催にあつての注意事項**』とともに、活動時の参考にしていただきますようお願いいたします。

記

1 感染予防の基本的な対応

～スポーツ庁「新型コロナウイルス感染対策 スポーツ・運動の留意点」より～

参考：https://www.mext.go.jp/content/20200522-mxt_kouhou02-

(1)換気の徹底

新型コロナウイルス感染症拡大予防に一番有効と言われているのが、換気です。室内で実施する場合には、十分な換気を行う事が必要です。

換気設備を適切に運転することや定期的に窓を開け、外気を取り入れる等の換気を行ってください。

(2)十分な距離の確保

運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けてください。特に呼気が激しくなるような練習の際は、より一層距離を空けるようにして下さい。また感染予防の観点からは、少なくとも対面2mの距離を空けることが適当とされています。

(3)マスクの着用

基本的にマスクを着用するとともに、三つの密(密閉、密集、密接)のいずれかに該当する場所を極力避けるようにして下さい。なおマスクを着用して、運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、体温を下げにくくなって熱中症になりやすくなることに注意して下さい。息苦しさを感じた時は、すぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないようにして下さい。

(4)うがい・手洗いの実施・手指の消毒の実施

うがい・こまめな手洗い、手指の消毒を徹底してください。なおその際、アルコール過敏症の方への配慮もして下さい。

(5)その他

夏の暑い季節は、熱中症予防の観点からも、こまめな水分・塩分の補給をお願いします。また、スポーツドリンクなどを飲む際には、複数の方との飲み回しは控えましょう。

2. 実際の活動における注意事項

～以下は参考例です。各ブロックの実態に即したものを作成してください～

【練習・練習試合の際の注意事項】

(1)練習を行うときの感染防止策について

- ①選手同士が接触しないような練習の仕方を工夫する。手をつなぐ、腕を組むなどは避ける。
- ②練習前には必ず検温をしてから参加する。風邪気味や体温が高い時は、練習に参加させないようにする。
- ③屋内の活動では、施設の広さに応じた適切な人数となるように留意すること。またこまめな換気を必ず行う。(例:30分毎に、5～10分程度の換気)
- ④タオルは個人用として、共用しない。
- ⑤飲み物は、個人の水筒やボトルを使用して、他と共用しない。
- ⑥練習等の終了後の指導者の話は、マスクを着用し、身体的距離を守り、短めにする。
- ⑦練習中はこまめにうがいをする。練習後は手洗い・うがいを必ず行う。
- ⑧練習の行き帰りは、マスクを着用する。特に指導者と保護者は必ず着用する。
- ⑨活動中に選手の体調不良が把握された場合は、速やかに帰宅させるようにする。
- ⑩家族や身近な人が感染した場合は、練習に参加させないようにする。
- ⑪熱中症対策も忘れずに行う。水分補給や休憩などをこまめに実施する。

(2)練習試合を行うときの感染防止策について

- ①練習試合は、チーム数を限定し、たくさんの人が集まらないようにする。
※1コート3チーム程度
- ②練習試合の際の1チームの人数をできる限り少なめにする。(1チーム9名まで)
試合に出ない選手などは参加させない。
- ③応援の保護者の人数も最低限度にする。引率の保護者に限定することも考えられる。
- ④保護者はマスクを着用し、拍手やポーズ中心の応援とする。
- ⑤指導者はベンチでマスクを着用し、大きな声を出して指導しない。
- ⑥指導者間のソーシャルディスタンスを保つ。(横並び1m間隔程度、対面2m間隔程度)
- ⑦タイムアウトやセット間での指導者の話は、身体的距離を守る。
- ⑧会場校(会場チーム)は、トイレや体育館の入り口に、アルコール等による消毒液を準備する。
- ⑨昼食時は、選手同士の距離を空け、静かに食べる。(できる限り、屋外での食事を推奨する。)
- ⑩感染者が増えている県外への遠征や合宿は、当面の間は行わない。
(感染者数が落ち着いている地域への遠征においても、感染予防対策をしっかりとって各チームの責任において行う。)

【大会・講習会等の感染防止策について】

①体調の確認

大会主催者は、当日に参加者の体調や個人情報など、以下の事項を把握しておく。(4週間保管)

- I 氏名・所属・連絡先（電話番号）等
- II 当日の体温
- III 実施日前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ せき・のどの痛みなどの風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難） 嗅覚や味覚の異常
 - エ 新型コロナウイルス感染症要請と診断された者との濃厚折衝の有無
 - オ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - カ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②参加者へのマスク着用等の感染防止策についての事前周知を抜かりなく行う。

③主催者として高知県小学生バレーボール連盟が準備・対応等すべき事項について

I 消毒剤の準備

- ・アルコール手指消毒剤の準備

II 実施プログラム等の3密回避配慮。

- ・開閉会式の密を避ける。
- ・監督会議等におけるマスク着用とSD。

III 参加人数調整(応援の保護者等の管理)

参加者や観客同士が密な状態にならないように、必要に応じ、あらかじめ会場(観客席)の数を減らすなどの対応をとること。

また大声での声援を送らないこと、会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること。

④更衣室、休憩室、待機スペースの配慮

更衣室・休憩室・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられるので、リスク対策に留意すること。

⑤会場上の注意

I 主催主管する大会・講習会等においては、「3つの条件(密閉・密集・密接)の回避が十分でない場合や安全な衛生環境の確保が対応できない場合には、開催を自粛する。

II 大会・講習会等においては、その準備における打ち合わせ等においても、密な状態とならないよう、配慮の上準備を進める。

⑥その他

I 主催主管する大会・講習会等においては、「3つの条件(密閉・密集・密接)の回避が十分でない場合や安全な衛生環境の確保が対応できない場合には、開催を自粛する。

II 大会・講習会等においては、その準備における打ち合わせ等においても、密な状態とならないよう、配慮の上実施する。

III その他、関係者で十分協議した上で準備を進める。